

発行責任者 病院長 岡野友宏
編集責任者 広報委員長 山本松男
本号編集担当 山本松男

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151

ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

歯科病院長着任の挨拶

昭和大学歯科病院病院長 岡野友宏

私たち昭和大学歯科病院の務め、それは口と歯の病気を予防し、また失われた機能を回復すること、その診療と研究を通じてあらゆる人の健康に貢献することです。

本院には様々な訴えをもった患者さんが来院されます。

最近では日々の歯の管理に不安のある方、もっと美しい口許、きれいな歯を求める方が増えてきました。私たちはそういう方を拝見して、まずは健康度をチェックし、ひとりひとりに合ったお口の管理法をとともに考えます。ときには歯並びをそろえる矯正治療や歯の変色をなくす治療も選択肢としてお示しします。重要なことはそれが科学に基づいた知識と技術であること、しかも個々の患者さんにふさわしいものであることです。

一方、ときには口の中に小さな“でき物”ができて、近くの歯医者さんから紹介される患者さんもいます。幸いにして一時的なでき物のことありますが、ときに悪性の病気がことがあります。患者さんは診断から治療、そしてその後のことで不安いっぱいになります。私たちにはその領域の治療のエキスパートがいます。さらに心強いことに昭和大学病院をはじめとして化学療法や放射線治療などの関連各科と連携することにより、高い治療成果と質の高いQOLが得られます。

ご高齢な方でもお元気な方がたくさんいらっしゃいます。しかし70歳を過ぎると様々な疾患を合併していることが多くなります。本院では内科を併設しています。歯科診療は多少とも侵襲があります。患者さんが望まれるときや、歯科医師が必要と判断したときには内科を併診しながら安心して歯科診療を受けられます。本院には高齢な方を専門とする診療部門があります。場合によっては脈や血圧をモニターしながら診療を受けることもできます。また高齢者でなくとも、歯科診療に特に不安を抱かれる方にはお申し付け下されば、必要な対応をいたします。

さて、本院は大学の附属病院です。開発されたばかりの医療や先進医療を積極的に取り入れています。歯科医療の発展のために大学病院に負わされた使命でもあります。そうした医療が患者さんに適していると判断されたときには、その利害得失をよく説明した上で、患者さんが納得したときのみ、それを採用します。断ったことで不利益をこうむることはありません。あくまで両者の合意の下で行われます。

もう一点、大学病院では将来を担う歯科医師を養成しています。5年生になると“臨床実習”と称して患者さんの前に出て、指導医のもとで診療に従事します。その“資格”を得るために全国一斉に行われる共用試験において、70点以上を得た学生のみを登院させています。幸いにして本学学生は全国的に高いレベルにあります。患者さんの前では“院内生”であることを自己紹介し、診療に関わることの了解を得ます。よろしくご協力のほどお願いいたします。万一、不快な思いをされたときには遠慮なく、主治医にお伝えください。

以上、本院の特徴をご説明するとともに、いくつかのお願いをいたしました。本院では患者さんが安心して安全に、質の高い診療を受けられることを第一に心がけております。それが実現して初めて研究や教育が可能となります。何卒、ご理解のほど、重ねてお願い申し上げます。



総合内科教授就任挨拶

総合内科 井上 伸

この度、昭和大学歯科病院総合内科の主任教授に就任させていただくことになりました。自分の専門は循環器疾患(心臓病・動脈硬化・不整脈)ですが、この専門領域を決めるに当たり卒業時点でどの科に入局するかは自分の医師としての一生を決める大変大きな選択でした。循環器疾患は昭和大学病院では第三内科が担当しており(現在の循環内分泌科)、来るべき高齢化社会に備えて脳血管障害や心臓病を学びたいという希望から入局を決めました。入局当時の新谷博一教授からは「きちんと診断してから治療にあたる」ことの重要性をたたき込まれました。患者さんに十分な問診と診察を行い、必要最小限の検査を行って病名を決めた後に薬を投与するという事です。さまざまな症状をお持ちの患者さんを、広範な角度から診療し、必要に応じて専門科に紹介する診療のありかたは今日「プライマリーケア」と名付けられ、ずさんな診断や安易な投薬、不必要な検査に警鐘を鳴らすものです。私が医者になった頃は大学病院でも一般医療施設でも一人の患者さんに十種類を越える大量の薬剤が長期間処方されるという事態が見受けられましたが、診断結果に対して有効性が実証された薬剤を用いるという方針は evidence based medicine(根拠に基づく医療)として広まっています。



平成 17 年から昭和大学歯科病院にて総合内科診療科長を拝命しましたが、高血圧・高脂血症など生活習慣病を中心に診療しています。その他の疾患につきましても呼吸器・アレルギー疾患が専門である田崎助教とともに拝見させていただきます。検査・治療の必要に応じて昭和大学病院各科、あるいは近隣他施設に紹介させていただきます。動脈硬化につきましては血管年齢が表示される「血圧脈波測定装置」がこの春、歯科病院総合内科に導入されました。手足の血圧を測定するだけで、血管の壁の弾力性の低下や手足の血管の詰まり具合が表示され、話題のメタボリック症候群など生活習慣病の予防に貢献するものと考えております。また管理栄養士による栄養指導も始まり生活習慣病予防の食事内容のご質問にもお答えできる体制を整えました。

歯科医学と内科学の連携を念頭に、診療内容を発展、充実させていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

昭和大学歯科病院によせられた患者さまの声

管理課長 志賀 耕二

ご意見・ご要望	回答・改善等
○「病棟スタッフの方々に大変お世話になりました。手術・術後の管理等、何に不安なく入院生活を送ることができました。」とのお褒めの言葉を頂きました。	●大変嬉しく思います。より多くの患者様に満足頂ける病院になるよう、これからも職員一同努力致します。
○レントゲン撮影時の指示が判りづらかった。	●分かりやすく説明するという基本的な接遇とインフォームド・コンセントがおろそかになってしまった為、患者様に十分な理解が得られなかったものと思っております。患者様本位の医療を提供できるよう努力致します。(中央放射線科)
○1F 男子トイレがとても狭い。	●身障者用トイレに改装した為、男子トイレのスペースが狭くなってしまいました。現在の身障者用トイレも使い勝手が悪く、大変ご不便をお掛けしております。改善策を検討しております。